Fitter用

COMPASS™ CLOUD

マニュアル

- Ver. 2.1 -

Noah Office Management System
WCC v2.1.0版

WCCに関するお問い合わせはこちら

ワイデックス補聴器 カスタマーサービス
フリーコール：00777-81810
直通ダイヤル：046-289-0235
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

WIDEX

本マニュアルについて

本マニュアルはWidex Compass Cloud（以下WCC）の導入方法について、Fitter（補聴器の調整を行う方）に特化して解説したものです。

Fitterにはロール（役割）の設定により、WCCゲートウェイのインストールができない場合があります。

※ ご自身のロールが不明な場合は、「登録のご案内」メールの送信者にご確認ください。

具体的な使用方法や調整方法についてはWCC内にあるオンラインガイドやインタラクティブツアーをご活用ください。

※ 仕様変更により本マニュアルに掲載の内容と実際のWidex Compass Cloudの動作、表示内容等に差異が生じる場合がございますこと、予めご了承願います。

INDEX

導入準備編

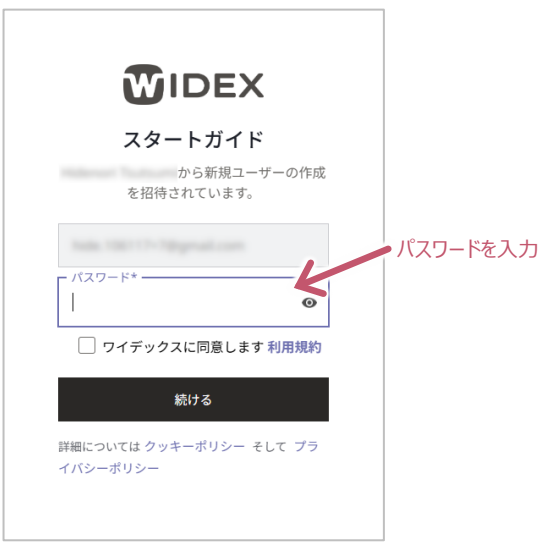
WCCへの初回サインイン ・・・

WCCへの初回サインイン

1. 「登録のご案内」メール内にある「アカウントの有効化」をクリックします。



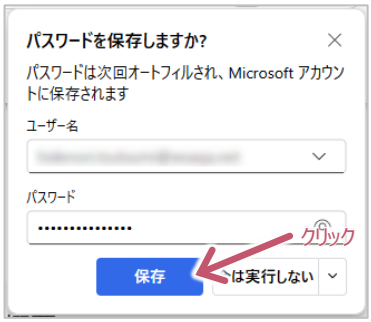
2. Google Chrome、Microsoft Edge、またはMozilla Firefoxが起動し、スタートガイド画面が表示されます。サインイン用のパスワードを決めて入力します。
※デフォルト設定されているブラウザが起動します。いずれもデフォルト設定されていない場合、Chromeがインストールされていればが、ChromeがインストールされていなければEdgeが、Edgeがインストールされていなければが開きます。
※パスワードは同じ文字が続かない14文字以上で、英大文字、英小文字、数字、記号（!@#$%^&*）のうち3種を含んでいる必要があります。
※パスワードは忘れないようにしてください。



3. パスワードを入力したら、「ワイデックスに同意します」にチェックを入れて「続ける」をクリックします。
※チェック欄が無い場合はチェックは不要です。



4. Googleの自動ログイン機能が有効になっており、「パスワードを保存しますか？」の画面が表示された場合は「保存」をクリックします。



5. WCCの画面が表示されます。



6. 右上のイニシャルアイコンをクリックしてサインアウトします。

Noahlink Wireless ファームウェアアップデート

WCCは補聴器とのインターフェースにNoahlink Wireless またはNoahlink Wireless 2（以下、総称してNoahlink Wireless）を使用します。ご使用の際は以下を参照のうえ、最新のファームウェアに更新してください。

1. HIMSAのNoahlink Wireless Downloadsページにアクセスします。

   https://www.himsa.com/himsa_download/noahlink-wireless-downloads/

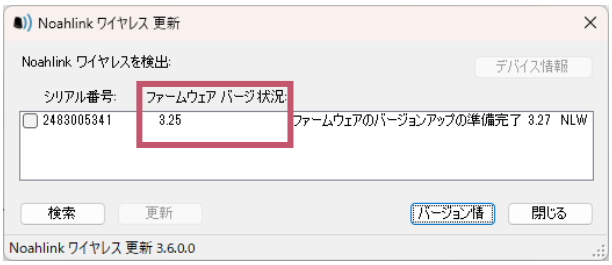
2. ページの下の方までスクロールし、Noahlink Wireless Firmware Upgraderの「Link」をクリックします。

Patch/Update	Description	Size	Download
Noahlink Wireless Firmware Upgrader 3.7.0.0	Includes firmware: – v. 2.25 for Noahlink Wireless and – v. 3.29 for Noahlink Wireless 2 April 2026	19 MB	Link

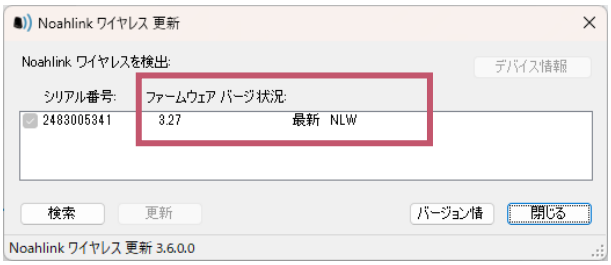
3. PCにNoahlink Wirelessを接続します。
   ※Noahlink Wirelessが検出されない場合は、Noahlink Wireless Driver Installerをダウンロードして、ドライバーをインストールしてください。

Patch/Update	Description	Size	Download
Noahlink Wireless Driver	For Windows 10 and 11 August 2026	17 MB	Link

4. 2でダウンロードしたFirmware Updaterを実行すると以下のウィンドウが表示されます。
   新しいファームウェアがある場合は、シリアル番号左のボックスにチェックを入れて「更新」をクリックします。
   ※4.の図のように「最新 NLW」の表示がある場合は、更新の必要はありませんので、「閉じる」をクリックして終了します。

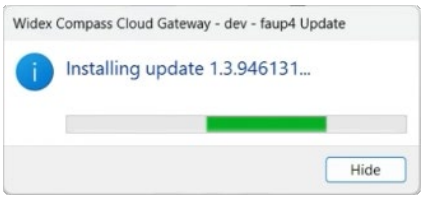


5. アップデートが終了し、ファームウェアバージョン状況に「最新 NLW」の表示があれば更新完了です。「閉じる」をクリックしてUpdaterを終了します。

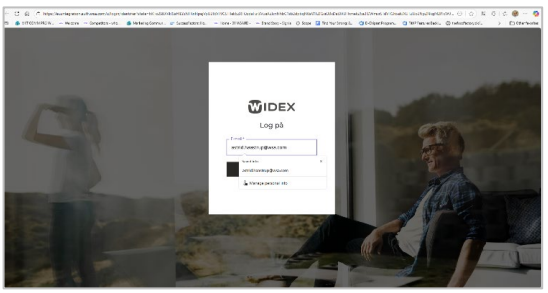


WCC ゲートウェイアップデート

1. ゲートウェイのアップデートがある場合、Noah 4から WCCを起動する際にWCCゲートウェイアップデーターが自動起動されます。



2. アップデートが完了すると上記のウインドウが自動で閉じます。
3. ウィンドウが閉じたら、再度Noah 4からWCCを起動します。
4. ブラウザが開き、サインイン画面が表示されるので、通常通りサインインを行います。



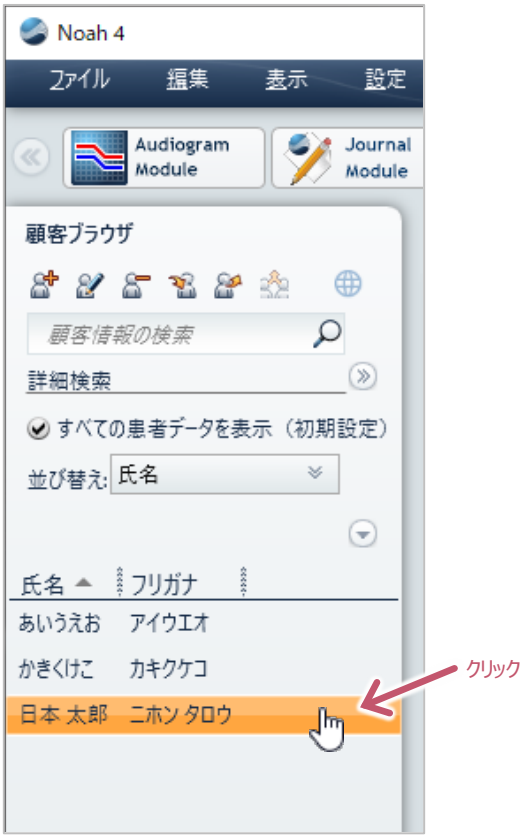
WCC フィッティングメニューへのアクセス

1. **Fitter**がWCCでフィッティングを行う場合は、Noah 4を起動します。



※Noah 4の使い方についてはこちらをご参照ください。

2. Noah 4を起動し、顧客ブラウザからフィッティングを行う患者名を選択します。

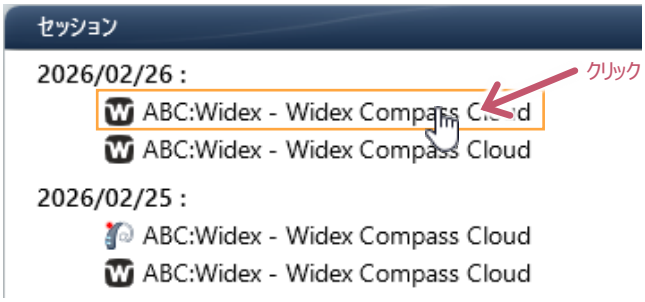


3. 患者名が選択された状態でNoah 4の上部にあるCompass Cloudアイコンをクリックするとと WCCが初回フィッティングの画面で起動します。



※オージオグラムに500Hz、1kHz、2kHz、4kHzの閾値のデータが1つでも欠けている場合、途中で強制終了となる場合がございますので、データ欠けの無い患者データを選択してください。

4. セッションから既存セッションをクリックした場合は、WCCが選択したセッションの状態で起動します。



5. ブラウザが起動し、サインイン画面が表示されるので、Emailアドレスを入力し、「続ける」をクリックします。



6. パスワードを入力し、「続ける」をクリックします。
※ブラウザの自動ログインが有効になっている場合は、パスワードの入力をスキップしてサインインされます。

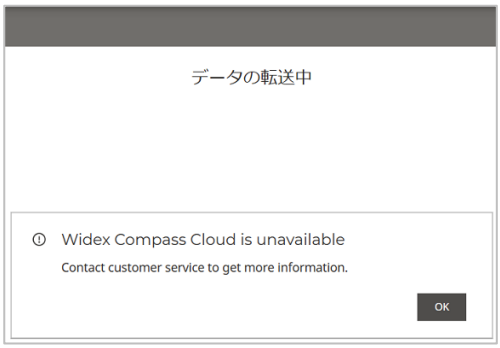


WCC フィッティングメニューへのアクセス

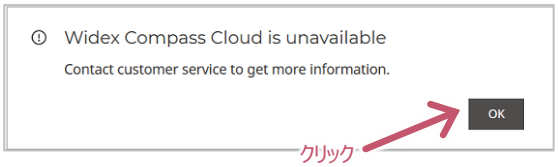
6. 「アプリを承認」の画面が表示された場合は、「同意」をクリックします。
※WCCのEmailアドレスへのアクセスとオフラインアクセスの許諾になります。



7. 以下の画面が表示されサインインが止まってしまった場合は、手順8～13を行ってください。
エラーが発生しない場合はP15の手順14の状態となります。



8. 手順7の状態で30秒まってから「OK」をクリックします。



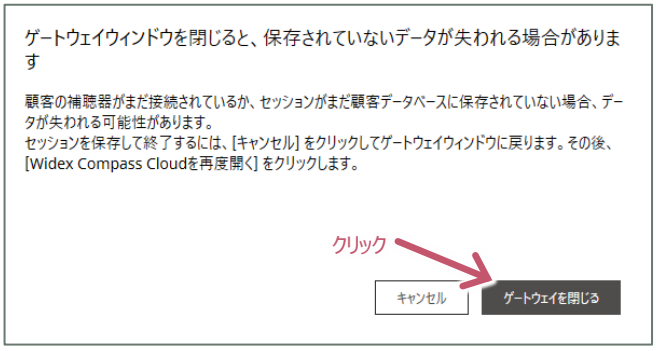
9. ウインドウが閉じたら、右上の「×」をクリックしてブラウザを閉じます。



10. 次に「Widex Compass Cloudゲートウェイ」の「×」をクリックします。



11. 以下の確認画面が表示されるので、「ゲートウェイを閉じる」をクリックします。



12. Noah 4を閉じてPCを再起動します。

13. PCが再起動したら、手順 1 ～6を行います。

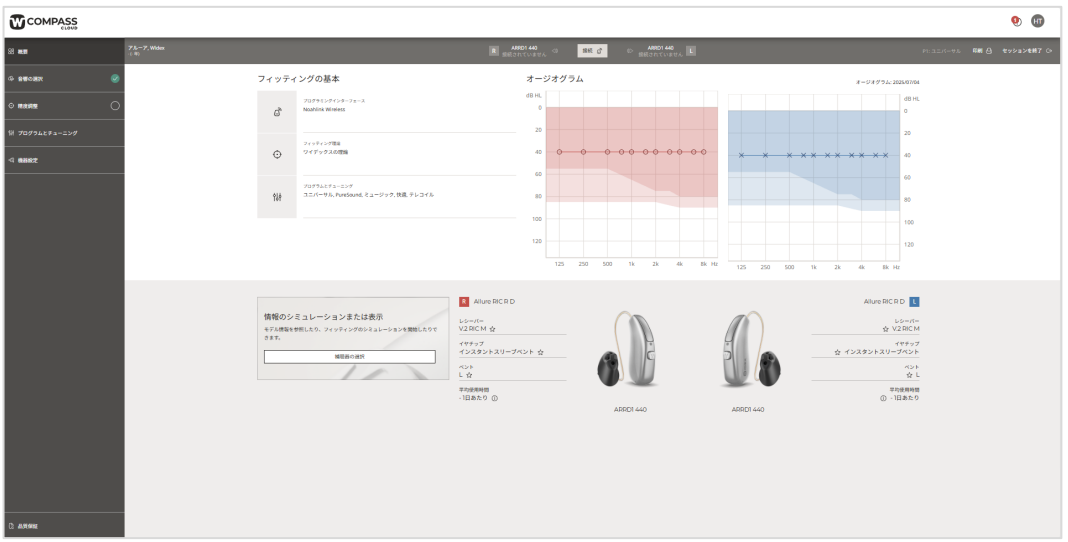
WCC フィッティングメニューへのアクセス

14. WCCが起動し、患者データのオージオグラムが反映されます。
※オージオグラムに500Hz、1kHz、2kHz、4kHzの閾値のデータが1つでも欠けている場合、途中で強制終了となる場合がございますので、データ欠けの無い患者データを選択してください。

【新規フィッティングの場合】



【既存セッションの場合】



ユーザー名の変更

1. WCC右上のアイコンをクリックし、「プロフィールを表示」を選択します。



2. 「お問い合わせ先」に表示されている「編集」をクリックします。



3. 「編集名」画面が表示されるので、「名」、「姓」を変更し、「保存」をクリックします。



ロールの確認方法

1. WCC右上のアイコンをクリックし、「プロフィールを表示」をクリックします。



2. 表示されたプロフィール画面のロールを確認します。



3. 役割に応じて以下の表示となります。

役割	全般		聴覚ケア	
	法的な署名者	ユーザーを管理	インストール	フィッティング
Super Admin	●	●	設定による	設定による
Admin	–	●	設定による	設定による
Installer	–	–	●	設定による
Fitter	–	–	設定による	●

・聴覚ケアに「インストール」の表示がある場合のみ、ゲートウェイのダウンロード/インストールが可能です。
・聴覚ケアに「フィッティング」の表示がある場合のみ、補聴器のフィッティングが可能です。
・Super AdminおよびAdminは設定により、ゲートウェイのダウンロード/インストール、フィッティングが可能となります。

更新内容の確認方法

1. 以下のURLをGoogle ChromeまたはMicrosoft Edgeで直接開きます。

   one.wsa.com

2. サインインすると「はじめに」画面が表示されるので、「Compass Cloudにアクセスする」の「はじめる」をクリックします。



3. 「Widex Compass Cloudのスタートガイド」が表示されるので、画面をスクロールして「更新情報テキスト」の内容を確認します。



[概要] WCCと補聴器の接続

1. PCにNoahlink Wirelessを接続し、WCC画面上部中央の「接続 」ボタンをクリックします。



2. 実行するアクションの画像をクリックします。



3. 補聴器の電源を入れてペアリングモードにします。
※周辺にBluetoothがオンになっているスマートフォン等がある場合は、Bluetoothをオフにしてください。

■「新しいフィッティングを行う」を選択した場合

1. （両耳の場合はそれぞれの）補聴器を装用する側のボタンを選択し「続ける」をクリックします。



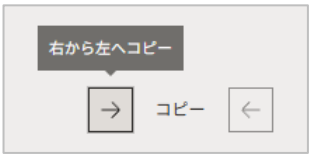
2. デモ器を調整する場合は「性能レベル」から設定するレベル（クラス）を選択し「続ける」をクリックします。



3. 「音響の選択」画面が表示されるので、補聴器に取り付けられているレシーバーとイヤチップを選択します。



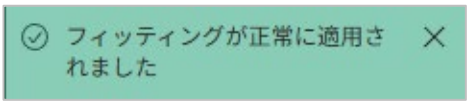
コピーボタンで片方の設定をコピーすることもできます。



4. 選択が終わったら「フィッティングを適用」をクリックします。
※オージオグラムに500Hz、1kHz、2kHz、4kHzの閾値のデータが1つでも欠けている場合、「フィッティングを適用」がアクティブになりません。



5. 正常にフィッティングが適用されると、右上に以下のメッセージが表示されます。



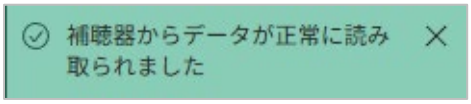
[概要] WCCと補聴器の接続

■「補聴器からのデータの読み取り」を選択した場合

1. （両耳の場合はそれぞれの）調整前に装用していた側のボタンを選択し「データの読み取り」をクリックします。

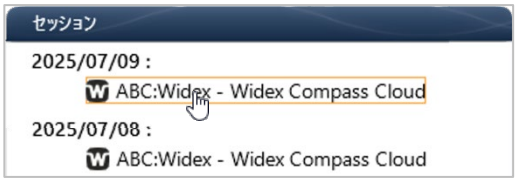


2. 正常に補聴器からデータが読み取られると、右上に以下のメッセージが表示されます。



■「補聴器へのデータの書き込み」を選択する場合
※データの書き込みを行う場合はサインインの際に過去のセッションデータからWCCを起動する必要があります。

1. Noah 4のセッションウインドウから書き込みを行いたいセッションデータをクリックします。



2. ブラウザが起動し、サインイン画面が表示されるので「WCCへのサインイン」の手順に沿ってサインインを行います。

3. PCにNoahlink Wirelessを接続し、WCC画面上部中央の「接続 」ボタンをクリックします。

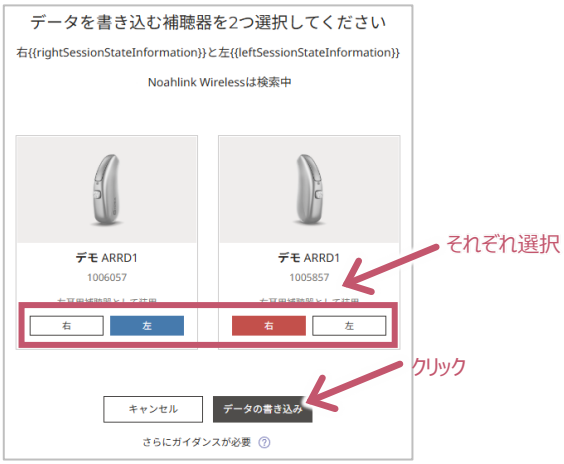


4. 「補聴器へのデータの書き込み」をクリックします。

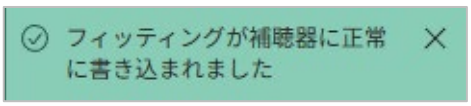


5. データを書き込みたい補聴器の電源を入れてペアリングモードにします。

6. データを書き込む補聴器の左右を選択し、「データの書き込み」をクリックします。



7. 正常に補聴器にデータが書き込まれると、右上に以下のメッセージが表示されます。



[概要] 補聴器間の設定の転送

同一モデルに限り、設定データの転送が可能です。

■デモ器のクラス変更

1. デモ器のフィッティング中に左メニューの「概要」をクリックします。



2. 補聴器情報の中央にある「↑↓性能レベル」をクリックします。



3. 性能レベル選択ウィンドウが表示されるので、変更したい性能レベル（クラス）を選択し、「続ける」をクリックします。



4. 性能レベルの変更内容が表示されるので、問題が無ければ「変更」をクリックします。
※設定値を維持しつつクラス間の差異に合わせた変更が行われます。



5. 10秒ほどで性能レベルが変更されます。ウィンドウが閉じれば完了です。

■製品間でのクラス変更

製品間、デモ器間、製品とデモ器間双方向への設定転送が可能です。
※AI RIC ⇆ RIC間の転送も可能です。

1. Noah 4またはWCCCMSから転送元のセッションデータを読み込んでWCCを起動します。



2. 「概要」メニュー内の「接続」をクリックします。



3. 「補聴器へのデータの書き込み」をクリックします。



4. 転送先の補聴器をペアリングモードにしてWCCに接続します。

5. データを書き込む補聴器の左右を選択し、「データの書き込み」をクリックします。



6. 転送先に合わせた変更が行われ、データが書き込まれます。

[精度調整] 補聴器のフィッティング

■音響校正

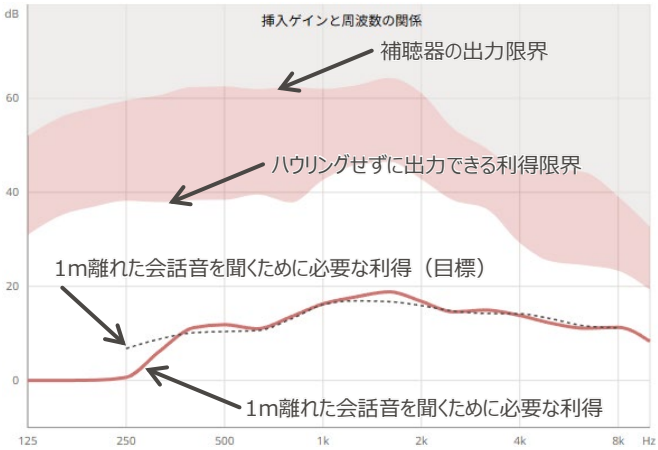
1. 左メニューの「精度調整」をクリックします。



2. 静かな環境で「右と左」または「右」、「左」を選択し「開始」をクリックして音響校正（フィードバックテスト）を行います。音響校正は片耳で30秒から1分程度で終了します。



3. 音響校正が終了するとグラフの利得限界（アベイラブルゲイン）が更新されます。



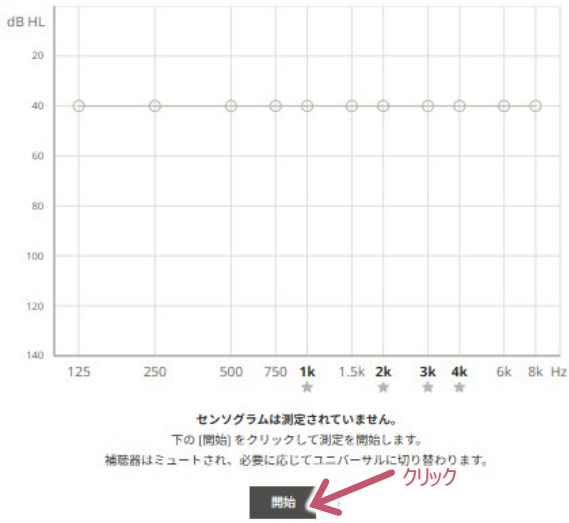
■センソグラム

1. 「音響校正」に続いてセンソグラムの測定を行います。補聴器が発する測定音を用いて測定するため、耳せんやモールドの効果、外耳道の特性、難聴の程度を考慮した閾値、ゲインが反映されます。
※センソグラムは必須の測定ではありませんが、実施することでより精度の高い調整が行えます。
※センソグラムの前に必ず音響校正を行ってください。

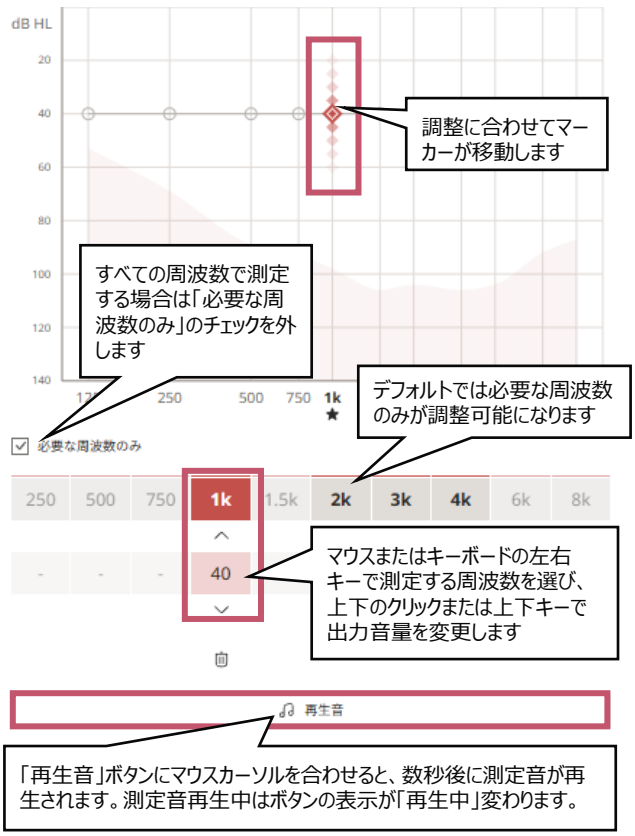
2. 画面内の「センソグラム」をクリックします。



3. オージオグラムが表示されるので、下部にある「開始」をクリックして、測定を開始します。

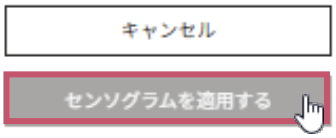


4. オージオメーター同様に各周波数において、出力音量を上下キーで変化させながら閾値を測定します。



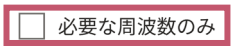
[精度調整] 補聴器のフィッティング

5. 測定が終了したら「センソグラムを適用する」をクリックして測定値を保存します。オージオグラムにセンソグラムの閾値が表示されます。両耳装用の場合はもう一方の耳についても測定を行います。



【補足】センソグラムの測定周波数について

・センソグラムでは500、1,000、2,000、3,000、4,000Hzを必須周波数として測定します。
・3,000Hzは外耳道容積差が現れやすく、明瞭性の向上とさらなる個別化が図れます。
・オージオグラムの500Hzの閾値が50dB以上の場合、500Hzの測定が有効となります。
これはセンソグラム測定をすることでより適切な閾値を取得できるためです。
・オージオグラムの500Hzの閾値が50dBに満たない場合、500Hzの測定は無効となり、500Hz以下はオージオ閾値を使用します。
これは外部ノイズの影響を受けやすく、正しい測定をすることが困難なためです。

「必要な周波数のみ」のチェックを外すことで、任意の周波数を測定可能となります。 

【注意点】
・センソグラムを手動でオージオグラムに合わせる行為（特に低域）は行わないでください。
・低域（500Hz）の閾値が良い場合（50dBHL未満）、500Hzのセンソグラム測定は不要です。
ゲイン計算にはオージオグラムの値を使用するため、過剰なゲインの心配はありません。
・低域（500Hz）の閾値が悪い（50dBHL以上）場合は、500Hzの測定が必要です。
フィードバックテスト結果（ベント効果の大小）によって測定音の大きさを加減するため、実測値のままで問題ありません。

[プログラムとチューニング] 補聴器のフィッティング

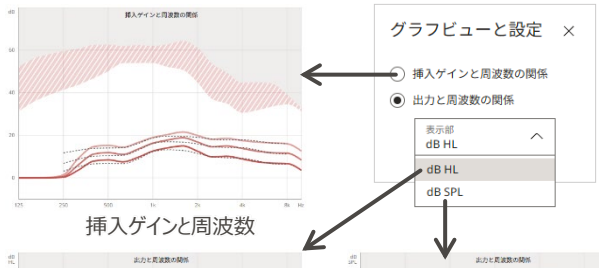
左メニューの「プログラムとチューニング」をクリックします。



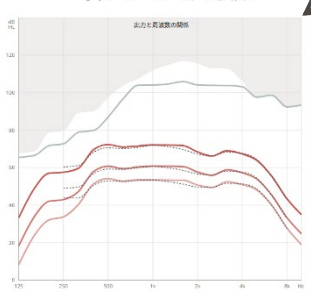
■ゲイン・MPOの調整

1. ゲインを調整したいプログラムのタブをクリックしてアクティブにします。

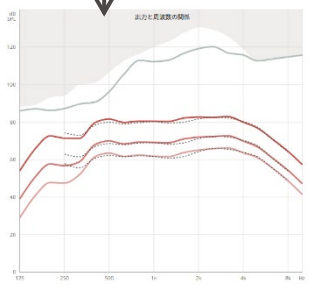
2. 「ゲイン」タブをクリックするとグラフィックエリアに挿入ゲインまたは出力のグラフ、設定エリアにとゲインマトリクスが表示されます。
グラフは [ ] スイッチで表示内容の切り替えが可能です。



挿入ゲインと周波数

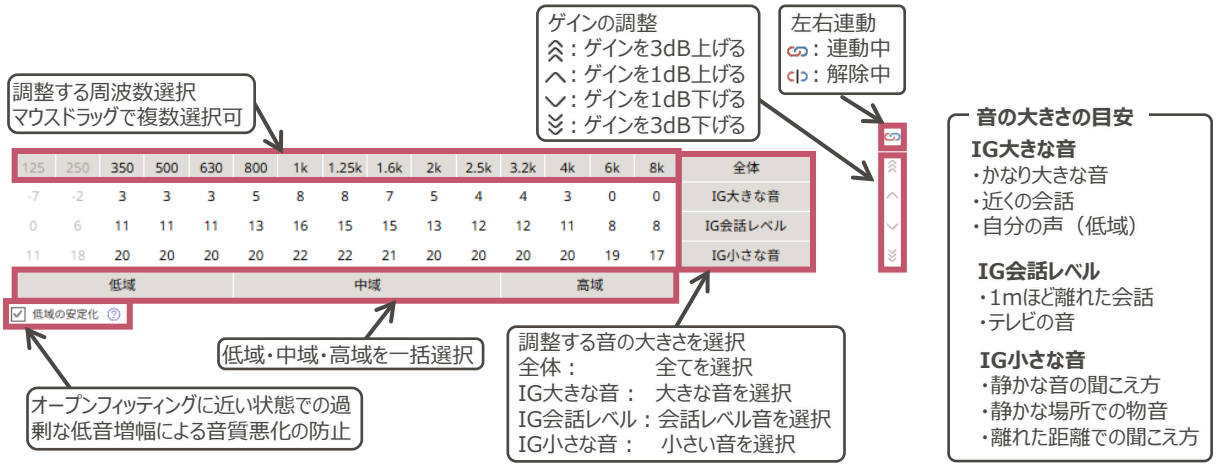


出力と周波数 dB HL

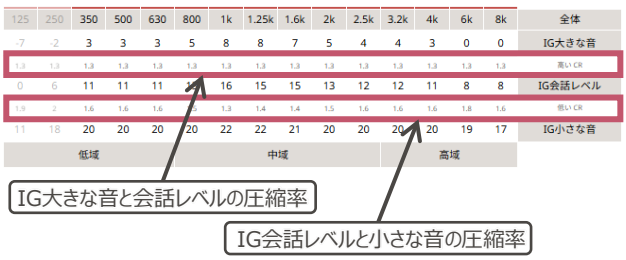


出力と周波数 dB SPL

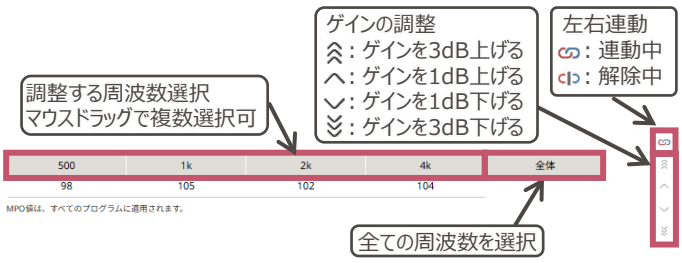
3. ゲインマトリクスで周波数ごとにゲインを調整します。



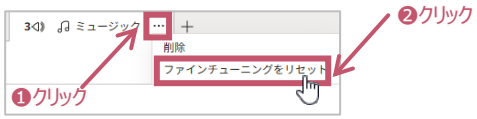
4. [CR] スイッチで圧縮率表示のオン/オフが可能です。



5. 「MPO」タブをクリックすると画面に出力のグラフとMPO設定パネルが表示されます。
グラフは [ ] スイッチで切り替えが可能です。
特定の音の大きさで問題を抱えているお客様については、ここでMPO（最大出力）値を変更できます。
※MPOの変更は全てのプログラムに反映されます。



6. 調整を元に戻したい場合は、プログラムタブの「…」から、「ファインチューニングをリセット」を選択します。



音の大きさの目安

IG大きな音
・かなり大きな音
・近くの会話
・自分の声（低域）

IG会話レベル
・1mほど離れた会話
・テレビの音

IG小さな音
・静かな音の聞こえ方
・静かな場所での物音
・離れた距離での聞こえ方

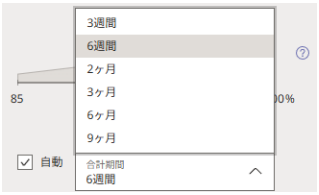
[プログラムとチューニング] 補聴器のフィッティング

■順応

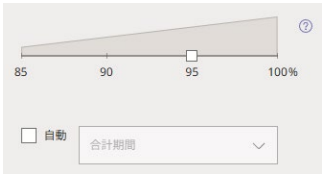
補聴器の必要な音の大きさになれるための音量設定を行います。

手動設定は本来の音量の85%、90%、95%、100%の4段階で設定、自動設定は設定した期間に応じた4段階で自動的に音量を大きくする設定が行えます。

自動設定

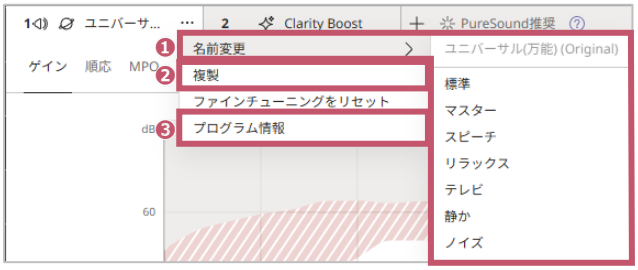


手動設定



■プログラムの追加・削除・複製

プログラムタブの「＋」からプログラムの追加、「…」からプログラムの複製や削除が行えます。



❶名前変更…

リストよりプログラム名を変更できます。選択したプログラム名はスマートスピークに反映されます。

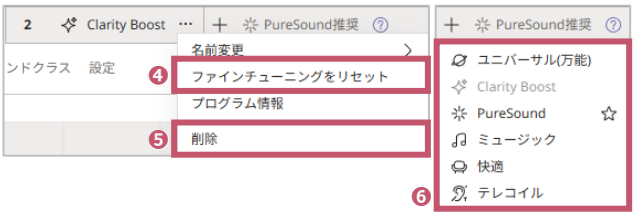
❷複製

設定値を含め同じプログラムを複製します。複製されたプログラム名はオリジナルの名称に枝番が付けられます。

※「Clarity Boost」プログラムは複製できません。

❸プログラム情報

各プログラムの概要を確認できます。



❹ファインチューニングをリセット

ゲイン等の調整値をデフォルトの状態にリセットします。

❺削除

プログラムを削除します。

※デフォルトのユニバーサルプログラムは削除できません。

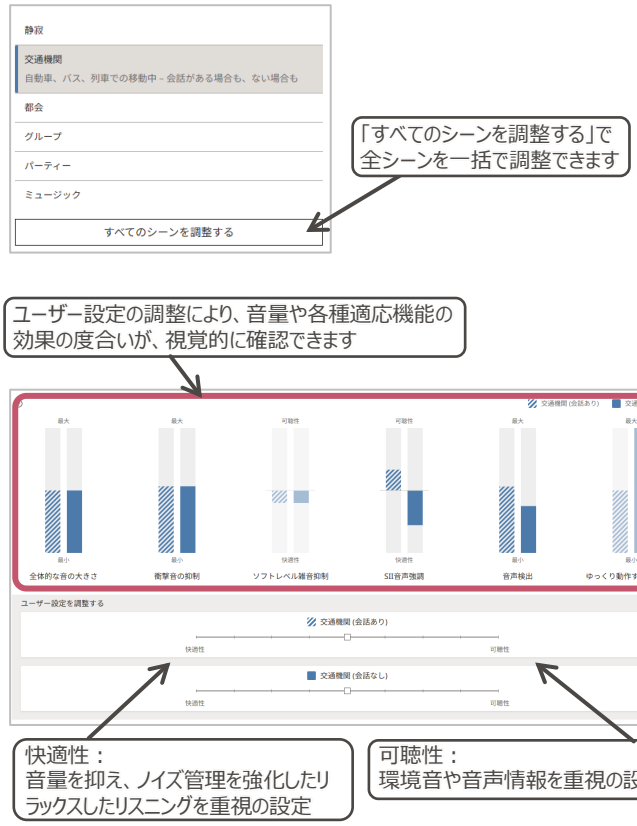
❻プログラムの追加

新しいプログラムを追加します。追加されたプログラムにはユニバーサルのゲインの調整値が引き継がれます。

※低域の安定化の設定は引き継がれません。

■サウンドクラス

1. サウンドクラスの各シーンごとに「快適性」と「可聴性」のバランス調整を行います。データログの結果とお客様の主訴をもとに、個々の聴取嗜好やライフスタイルに合わせることもできます。



スライダーの位置に応じて以下のように聞こえ方が変化し、快適性はやわらかい音質に、可聴性はメリハリの効いた音質に変化します。

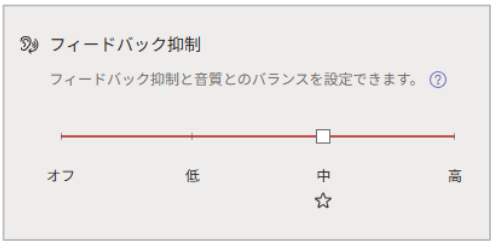
	快適性	可聴性
ボリューム	小	大
突発音制御	強	弱
案騒音制御	強	弱
音声強調	弱	強
騒音制御	強	弱

[プログラムとチューニング] 補聴器のフィッティング

■適応機能の設定

「設定」タブをクリックすると適応機能設定画面が表示されます。
※機能と設定項目はプログラム・性能レベルで異なります。

フィードバック抑制（ハウリング制御）



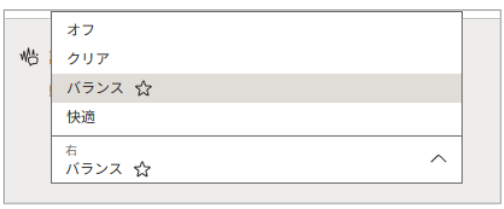
高 ：通常よりフィードバック抑制を強くかけます。ハウリングがより起こりにくくなりますが、音質が影響を受ける可能性があります。
中 ：音質とフィードバック抑制のバランスをとります。
低 ：音質を優先し、弱めにフィードバックを抑制します。
オフ：フィードバック抑制をオフにします。

マイクモード（指向性）



HDロケーター：
騒音の高さに合わせてチャンネル毎の指向性が動作します。
デジタルピナ付きHDロケーター（220/110は非対応） ：
騒音下ではマルチチャンネル環境適応型指向性として動き、静かな環境では耳介効果を擬似的に再現し音の前後方向をわかりやすくします。
後方（220/110は非対応） ：
常に前や横の音を抑え、後方の音にフォーカスします。
前方：
常に横や後ろの音を抑え、前方からの音にフォーカスします。
全方向：
補聴器のマイクが無指向性になります。

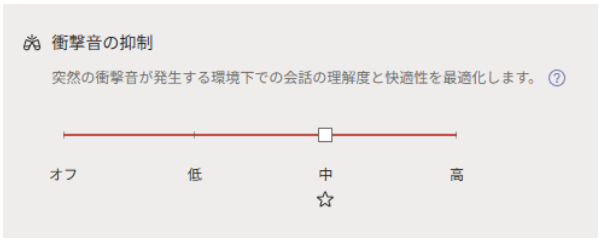
話し声とノイズモード（騒音制御/スピーチエンハンサーPro）



快適（110は非対応） ：
騒がしい環境下で静かさを重視した動作になります。

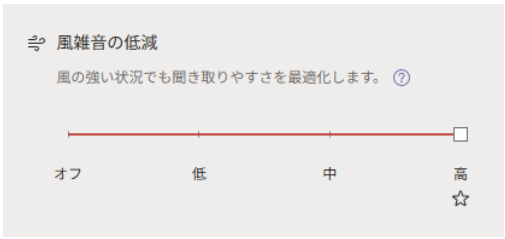
バランス：
聞き取りやすさと会話へのフォーカスをバランスよく行います。
クリア（220/110は非対応） ：
騒音下では静かさよりも会話音を優先的にフォーカスします。
オフ：
スピーチエンハンサーProをオフにします。

衝撃音の抑制（トゥルーサウンド ソフトナー）



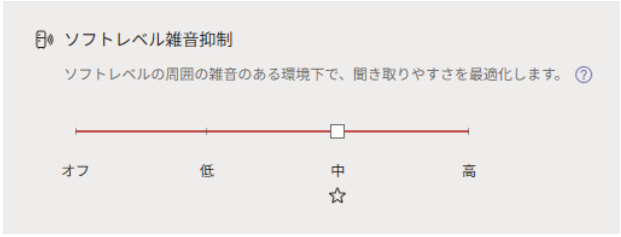
高：衝撃音を強く抑え、大きな音をうるさがる方に向いていますが、会話に影響がでる場合があります。
中：バランスよく衝撃音を抑制します。
低：衝撃音の抑制を少なめに行います。
オフ：トゥルーサウンドソフトナーをオフにします。

風雑音の低減（スマートウィンドマネージャー）



高：風雑音を大幅に軽減します。会話に影響がでる場合があります。
中：自然な音をとらえつつ、バランスよく風雑音を低減します。
低：風雑音の低減を少なめにより多くの音をとらえます。
オフ：スマートウインドマネージャーをオフにします。

ソフトレベル雑音抑制



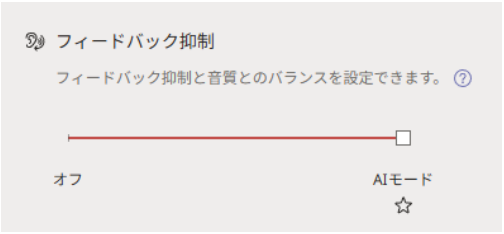
高：小さな定常的な雑音を大幅に軽減します。小さな会話音に影響がでる場合があります。
中：小さな定常的な音を低減します。
低：小さな定常的な音の抑制を少なめに効かせます。
オフ：ソフトレベル雑音抑制をオフにします。

[プログラムとチューニング] 補聴器のフィッティング

「Clarity Boost」プログラムの適応機能設定について

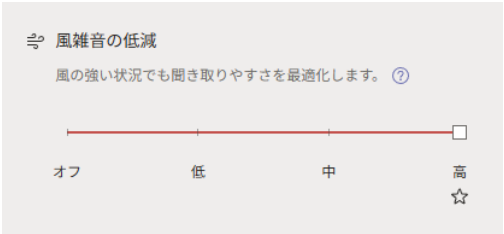
Clarity Boostプログラムを選択した場合、設定項目は以下となります。

フィードバック抑制（ハウリング制御）



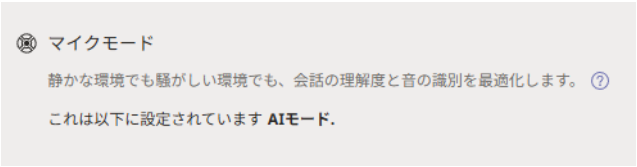
オフとAIモードの二択となります。

衝撃音の抑制（トゥルーサウンド ソフトナー）



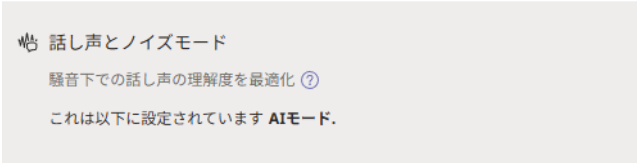
他のプログラムと同様となります。

マイクモード（指向性）



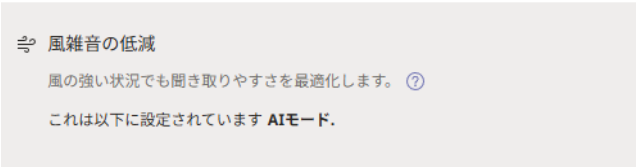
AIモード固定となります。

話し声とノイズモード（騒音制御/スピーチエンハンサー Pro）



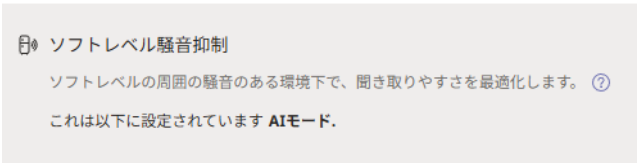
AIモード固定となります。

風雑音の低減



AIモード固定となります。

ソフトレベル雑音抑制



AIモード固定となります。

[機器設定] 補聴器のフィッティング

左メニューの「機器設定」をクリックします。



■ユーザーコントロール
プログラムボタンおよび音量コントロールボタンに機能を設定できます。
短押し：ボタンを短く押したときの動作を設定します。
長押し：ボタンを1秒以上押したときの動作を設定します。
デフォルトでは*印の機能が設定されます。
※モデルによりボタンと設定できる内容が異なります。

1. 各ボタンの短押し/長押しに割り当てる機能をドロップダウンリストより選択します。
2. 割り当てられる機能は以下となります。
「*」はデフォルト設定の機能です。

ALLURE AI RIC R D [ARRD2]
ALLURE RIC R D [ARRD1]
プログラムボタン
短押し：プログラム変更* / 音量コントロール / 機能なし
長押し：プログラム変更 / ミュート/ミュート解除 / 機能なし*

ALLURE BTE R D [ABRD1]
プログラムボタン
短押し：プログラム変更* / 機能なし
長押し：ミュート/ミュート解除 / 機能なし*

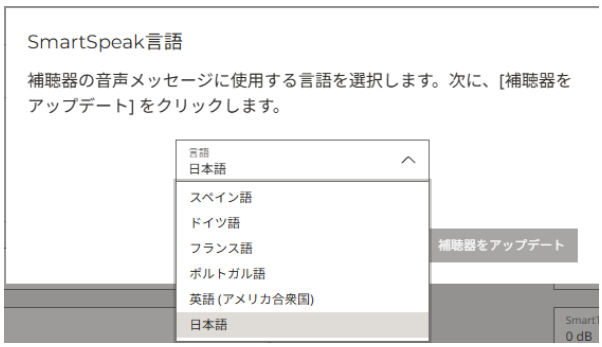
音量コントロールボタン
短押し：音量コントロール* / 機能なし
長押し：ミュート/ミュート解除 / 機能なし*
※両耳使用の場合、音量コントロールボタンは左右独立した設定が行えます。

ALLURE ITE R D [ACRD1]
プログラムボタン
短押し：プログラム変更* / 音量コントロール / 機能なし
長押し：プログラム変更 / ミュート/ミュート解除 / 機能なし*



■聴覚インジケータ

SmartSpeak言語
SmartSpeak選択時の言語を設定します。



インジケータとデモ

・プログラム変更
プログラム変更時のお知らせ音のオン/オフ、およびSmartTone/SmartSpeakの設定を設定します。

・音声コントロールとデモ
プログラム変更時のお知らせ音（SmartTone）のオン/オフを設定します。

・起動中
プログラム変更時のお知らせ音のオン/オフ、およびSmartTone/SmartSpeakの設定を設定します。

・バッテリー残量低下の警告
プログラム変更時のお知らせ音のオン/オフ、およびSmartTone/SmartSpeakの設定を設定します。

スピーカーアイコンをクリックすると、補聴器から設定したお知らせ音が再生されます。



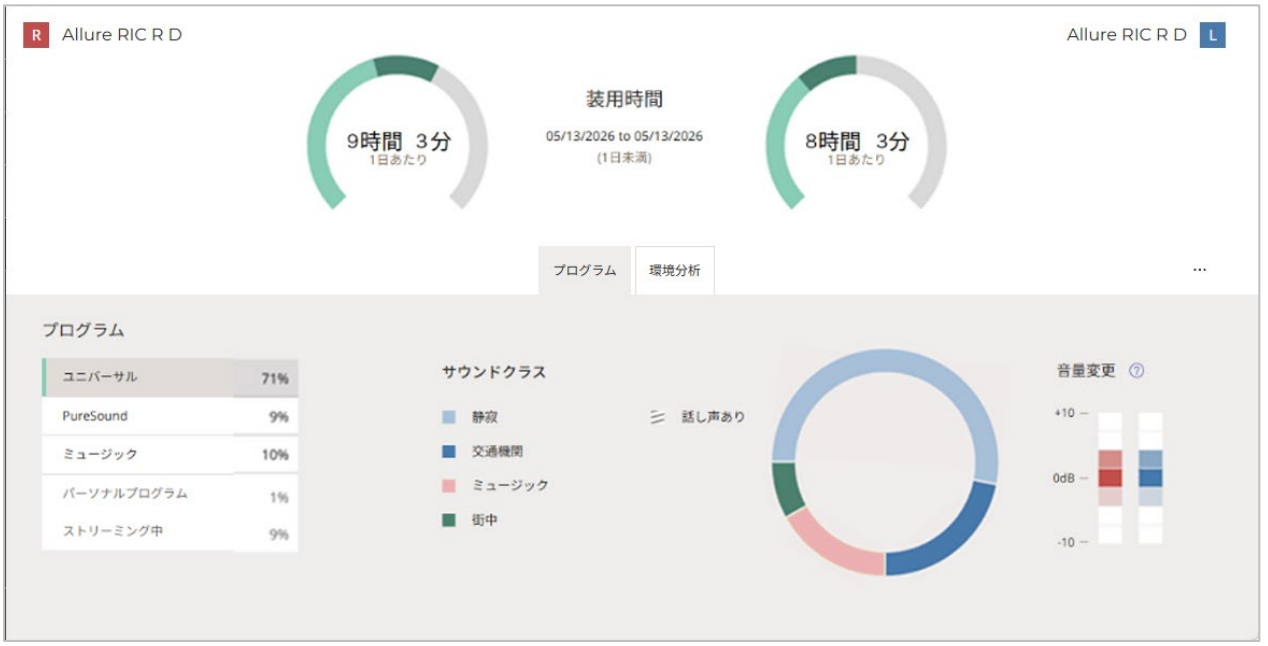
設定
SmartSpeakとSmartToneの再生音量、およびSmartToneの音の高さ（周波数）を設定します。

[データロギング] 補聴器のフィッティング

左メニューの「データロギング」をクリックします。



■プログラム
前回調整時からの補聴器の使用状況が表示されます。



装用時間
左右それぞれの総装用時間、および各プログラムが使用された割合がグラフ表示されます。

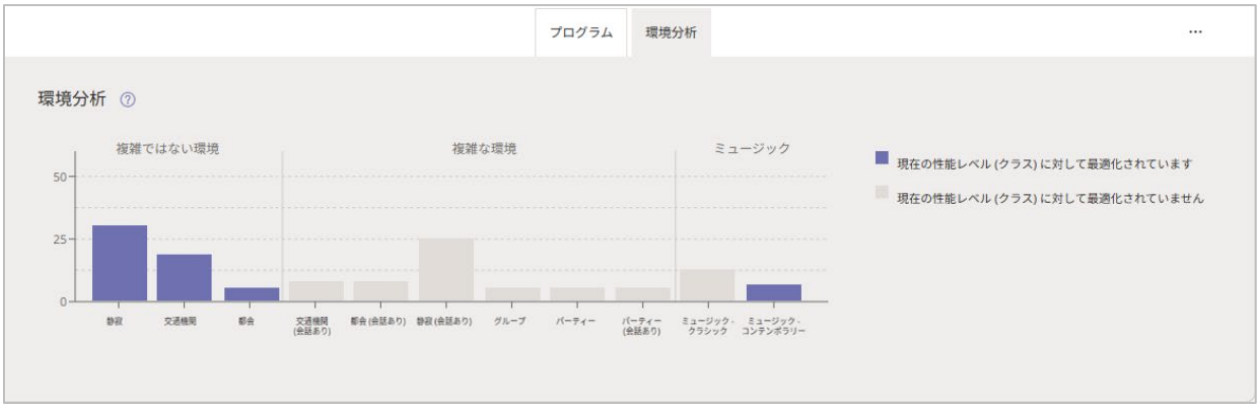
プログラム
各プログラムが使用された割合が%表示されます。

サウンドクラス
装用時に使用されたサウンドクラスの各シーンの割合がグラフ表示されます。

音量変更
各プログラムでの音量変更の使用状況を表示します。
使用頻度が高い音量は色が濃く表示されます。

[データロギング] 補聴器のフィッティング

■環境分析
サウンドクラスの各シーンの適用状況がグラフ表示されます。



補聴器によって検出 されたシーンと、それぞれのシーンで 過ごした時間がグラフ表示されます。これにより、装用者の日々の聴取状況のを把握できます。

紫のバー■は、使用中の補聴器の性能レベルで対応が最適化されて いる環境を示します。
灰色のバー□は、検出された環境のうち、現在の性能レベルでは最適化されていないものを示します。灰色のバーが高く表示されている場合は、より高い性能レベルが適している可能性があります。

■性能レベルの概要
「性能レベルの概要」をクリックすると、前回調整時からの補聴器の使用状況が表示されます。





COMPASS GPSの顧客データをNOAH 4で利用する

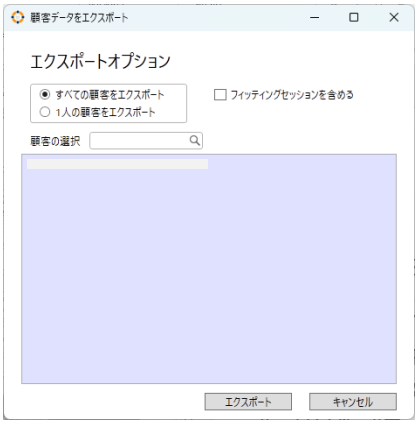
COMPASS GPSから顧客データをエクスポートし、Noah 4にインポートすることでデータを利用できます。

1. Windowsのスタートメニューから COMPASS GPS Tools > COMPASS GPS Consoleを選択し、COMPASS GPSコンソールにログインします。

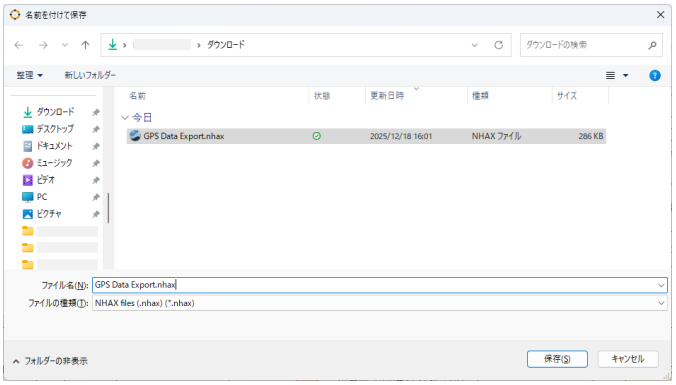
2. COMPASS GPS コンソールで「データベース管理」を選択し、「顧客データをエクスポート」をクリックします。



3. 「すべての顧客をエクスポート」または「1人の顧客をエクスポート」を選択し、「エクスポート」ボタンをクリックします。

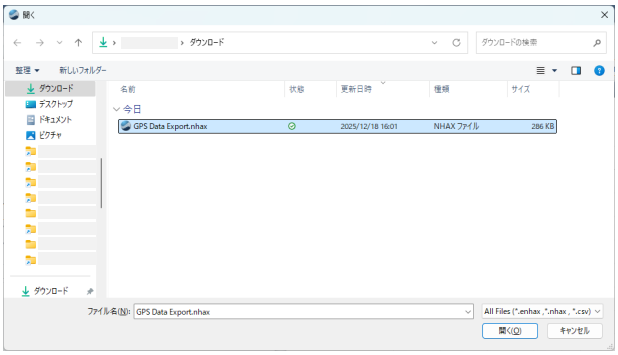


4. エクスポートデータの保存先を選択、保存ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。



5. Noha 4を起動し、ファイル > 顧客情報のインポートを選択します。

6. 保存した顧客データを選択し、「開く」をクリックします。



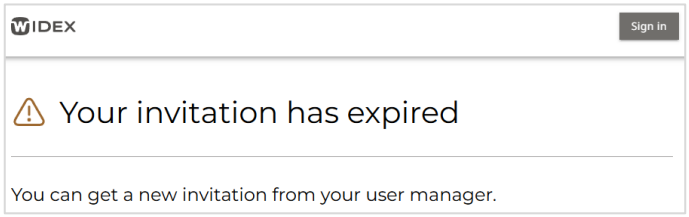
7. データのインポートが成功したら「閉じる」をクリックして、顧客情報のインポートを終了します。

8. 顧客情報が正しく取り込まれていることを確認します。

こんなときは？

以下にWCC導入にあたってのトラブル解消法をご紹介いたしますので、サポートデスクにお問い合わせいただく前にご確認ください。ご紹介した対策を行っても解決しない場合は、サポートデスクまでご連絡をお願いいたします。

Q. 招待メールのリンクをクリックしたが、有効期限切れの表示がされた



A. 招待メールのリンクの有効期限はメールの受信日から30日間となっています。有効期限内にも関わらず有効期限切れの表示がされた場合は既にサインイン済みの可能性がありますので、one.wsa.comにアクセスしてサインインを試してください。30日間が過ぎた場合、Super Adminの方はサポートデスクまたは担当営業までご連絡をお願いいたします。Admin、Installer、Fitterの方はSuper AdminまたはAdminに招待メールの再送依頼を行ってください。

Q. デスクトップにWCCのアイコンがなく、WCCを起動する方法が解らない

A. WCCはExcelやWordのようなアイコンはデスクトップに表示されません。サインインする場合、Super Admin、Admin、InstallerはGoogle ChromeまたはMicrosoft Edgeでone.wsa.comにアクセスしてください。Fitterの方はNoah 4よりCOMPASS CLOUDのアイコンをクリックしてください。

Q. 社内スタッフのユーザー作成を行ったが、招待の有効期限が切れてしまった

A. 有効期限が切れてしまった場合は、ユーザー名の右端にある「⋮」をクリックし、「案内を再送信する」を選択した招待メールを再送信してください。



Q. 複数のPCを同じユーザーで使用したい

A. 同じユーザーIDで複数のPCにサインインして同時に使用することは可能です。ただしセキュリティ上の理由で1つのユーザーIDを複数名で使用することは禁止されていますのでご注意ください。

こんなときは？

Q. ALLURE以外の補聴器もWCCで調整したい

A. WCCはALLUREおよび今後発売となる補聴器のみに対応しております。MOMENT/MAGNIFY以前の補聴器の調整にはCOMPASS GPSをご使用ください。

Q. サインインで使用したのとは別のPCを使用したい

A. 一度サインイン済みのユーザーであれば、別のWCCの動作要件を満たしているPCにサインインして使用できます。
Super Admin、Admin、InstallerはGoogle ChromeまたはMicrosoft Edgeで one.wsa.comにアクセスしてください。FitterはNoah 4でCOMPASS CLOUDアイコンをクリックしてください。
※必要に応じてゲートウェイのインストールを行ってください。

Q. Super Adminでサインインを行ったが、「はじめに」の画面に「はじめる」が表示されない

A. Super AdminにはデフォルトでInstallerおよびFitterの役割は付与されておりません。ユーザー管理画面で必要な役割を追加した後、サインインし直してください。

Q. サインイン時にIDまたはパスワードを間違えてしまい、アカウントがブロックされた

A. Super Adminは10回、その他のユーザーは7回サインインに失敗するとアカウントがブロックされます。
アカウントがブロックされたユーザーには以下のメールが送信されますので、「マイアカウントのブロックを解除する」のリンクをクリックすることでブロックの解除が可能です。メールを削除してしまった場合は、サインイン画面内にある「パスワードをお忘れですか？」のリンクよりパスワードリセットを行ってください。





こんなときは？

Q. サインイン後に「データ転送中」と表示されたままとなり、先に進めない



A. 「WCC フィッティングメニューへのアクセス」の手順8～13を行ってください。

Q. パスワードリセットを行い新しいパスワードを入力したがエラーになってしまった



A. パスワードは直近で過去3回使用したパスワードは使用できません。全く新しいパスワードもしくは4回前以前のパスワードをご使用ください。

Q. WCCにサインインしたが「アクセスについては、システム管理者にお問い合わせください」と表示され何もできない



A. ロールの割り当てられていないユーザーがサインインした場合この表示がされます。Super Admin、Adminにロールの設定を依頼してください。

こんなときは？

Q. Noah 4からWCCを起動したがサインアウトされ、「権限がありません」のエラーが表示された



A. フィッティングのロールがないユーザーがNoah 4からWCCを立ち上げた場合は「（フィッティングの）権限がありません」のエラーとなります。フィッティングを行う必要がある場合はフィッティングのロールを追加してください。

Q. WCCゲートウェイがインストールできない

A. インストールのロールがないユーザーはWCCゲートウェイをインストールできません。また、PCにNoah 4がインストールされていない場合、ゲートウェイをインストールできません。
PCにNoah 4をインストールした後、インストールのロールを与えられたユーザーでWCCゲートウェイのインストールを行ってください。

Q. フィッティングの途中でセッションが強制終了された

A. 稀なケースですが、患者データをエクスポート/インポートでデータ共有している場合や、ネットワークでデータを共有している場合などで同じ患者データを同時に使用すると先にデータを使用していたWCCが強制終了されます。同じデータを同時に使用しないようにしてください。

Q. メールアドレスを変更したい

A. 一度サインインしたメールアドレスは変更できません。別のメールアドレスを使用したい場合は、新規にユーザーを作成する必要があります。Super AdminまたはAdminにユーザー作成を依頼してください。
Super Adminのメールアドレスを変更する場合は、別のメールアドレスを作成し、Super Adminに変更する必要があります。Super Adminの設定はWIDEX側で行いますので、Super Adminに設定するユーザーを作成後に担当営業までご依頼ください。

Q. 補聴器のファームウェアがWCCで更新できない

A. WCCからのアップデートが上手くいかない場合、ALLUREアプリ経由でアップデートが成功した事例がありますので試してみてください。
WCC経由のアップデートにはおよそ5分、アプリ経由のアップデートにはおよそ15分の時間が掛かります。